

水田たより 5月号

令和4年5月2日

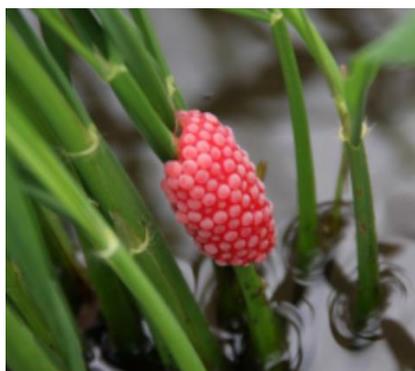
JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除対策について

■ジャンボタニシについて

- ・ジャンボタニシの被害は 5月初旬から中旬にかけて増加します。
- ・ジャンボタニシは多くの細菌を体を持っているため素手では絶対に触らないてください。
- ・ジャンボタニシは他のタニシと比べ殻が横に広いという特徴があります。
- ・卵はピンク色なので見つけたら速やかに潰すなどして対処してください。



(出典 左：山武市 右：農林水産省)

ジャンボタニシ

マルタニシ

ヒメタニシ

■浅水管理と移植後の薬剤散布

これからできる対策として浅水管理と移植後の薬剤散布があります。

対策①浅水管理による防除について

ジャンボタニシは水深が浅いと自由に動けなくなり被害を軽減できます。

方法：移植後 3週間まで水深を 4cm以下に維持することでジャンボタニシによる稲への食害を軽減することができます。

対策②移植後の薬剤散布について

移植後の薬剤散布はほ場でジャンボタニシを見つけ次第すぐ行ってください。

方法：表にあるような薬剤を散布しジャンボタニシの被害を抑制できます。

薬剤名	適用害虫名	使用量	使用回数	使用時期	注意点
ジャンボたにくん	スクミリンゴガイ	1~2kg/10a	2回以内	収穫60日前まで	散布後1週間は湛水状態(3~5cm)にし落水、かけ流しはしない
スクミノン		1~4kg/10a			

※農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容(使用回数、成分の総使用回数など)を十分に確認してください。

■スクミリンゴガイの防除マニュアルについて

上記のほか、石灰窒素を用いた体系的な防除の紹介などが掲載された「スクミリンゴガイ防除マニュアル」が発行されました。詳しくは農林水産省のHP中「三重県におけるスクミリンゴガイの防除対策」をご確認ください。

水田雑草『ヒレタゴボウ』の適期防除

■中干し前後に除草剤処理を！

管内では近年、大型一年生広葉雑草ヒレタゴボウが多発し問題となっています。

ヒレタゴボウは、初中期一発除草剤の効果が切れる中干し前後から発生し始めます。

前年に発生したほ場では今年も発生する可能性が高いため、**中干し前後の除草剤処理**による予防が推奨されます。中干し後の使用では特に**収穫前日数に注意**をお願いします。

【農薬例】

薬剤名	使用時期	使用量	散布方法
レブラスジャンボ	移植14日後から 収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(400g)/10a	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる
ツイゲキ豆つぶ250	移植20日後から 収穫60日前まで	250g/10a	湛水散布または 無人航空機による散布

※農薬の使用にあたっては、ラベルに記載された内容(使用回数、成分の総使用回数など)を十分に確認してください。

また、ヒレタゴボウは種で増えます。そのため、除草剤で処理しきれず残ってしまった場合は、**種子形成までに抜き取り、圃場から取り除く**と翌年以降の発生を減らすことができます。



茎が角ばっており切り口は正方形

■麦類の栽培管理

■気象庁の1か月予報(令和4年4月23日から5月22日)

暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高くなる予報です。また、湿った空気の影響も受けやすく、降水量は多く日照時間は少ないでしょう。

■麦類生育基準田の成熟期予測(令和3年11月上旬播種、「麦生育予測システム」による)

地域	品種	出穂期		成熟期(予測)
		本年	前年	
桑名・木曾岬	小麦「さとのそら」	4月12日	3月31日	6月3日
いなべ・東員	小麦「あやひかり」	4月9日	4月1日	6月4日
	大麦「ファイバースノウ」	4月8日	4月2日	5月25日

1か月予報をみると平年より気温が高いと予想されるため、成熟期が早まる可能性があります。下記を参考に、こまめに圃場巡回をおこない収穫適期の判断をしましょう。

■収穫作業

①水分を測定し、適期に収穫を！(収穫のめやすは**水分量28%**以下)

・立毛中の水分低下は**1日に2~3%程度**ですが、その日の天候により大きく変動します。

好天で風の強い日には5%以上低下する場合がありますが、曇天時にはあまり減少しません。

②収穫適期の見分け方

・過去の水田たより(令和3年5月号、令和2年5月号)に**収穫適期見分け表**を記載していますので是非ご参考ください。

